

◆職場内家庭教育研修会◆

社会福祉法人 愛知県厚生事業団

日時：令和5年11月28日(火) 午後3時30分～
会場：愛知県 出来町庁舎
講師：杉村 秀充 氏
 応用教育研究所 参与・研究主事
演題：『勇気づけの子育て』

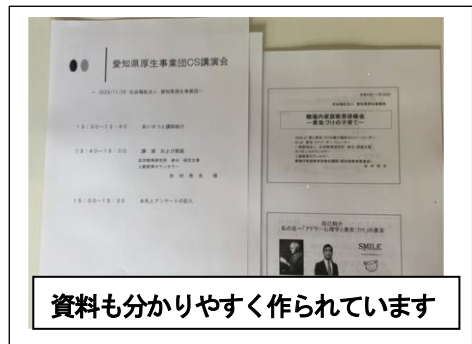


応用教育研究所 参与・研究主事の杉村秀充先生を講師に迎え、『勇気づけの子育て』の演題で職場内家庭教育研修会を開催しました。ここ数年は新型コロナウイルスの感染拡大で、生活全般において心身に負担のかかる状況でした。最近は様々な制限が緩和され、家庭生活においても家族や親子のつながりの再構築が課題になってきています。



講義では、インストラクション（緊張ほぐし）の活動から始まり、朗らかな雰囲気での研修会が始まりました。内容はまず『勇気づけ』とは何か？との問いから、「勇気づけの技術」、「失敗の肯定的な意味」、「勇気づけるための言葉」など、親子関係や家族との関わりを題材とした内容が続きました。特に、「リフレーミング（視点を変えること）」では、発想の転換の必要性を学びました。相手の言動に対して、見方や感じ方を変えることで、印象や受け入れる姿勢が全く変わってくることを具体例を中心に学びました。

限られた時間の研修でしたが、グループでの活動や具体例を中心にした先生のお話で、有意義な研修会になりました。各参加者による事後アンケートにも、自らの子育てや親子関係に触れた内容のものも多く、参加者の心や気持ちに響いた研修会でした。



参加された方々の感想より

- 具体例を出しながらのお話だったので分かりやすかったです。介護施設で働いているのですが、今回の内容は施設利用者様や職員間でも参考になりそうだと思います。
- 何気なくかける言葉や態度が、子供の心を傷つけてしまっていることが分かりました。「ほめる」だけでなく、「勇気づける」ことが大切だと分かりました。実践したいと思います。
- 育て方に自信がなく、不安な気持ちがあり参加しました。とても勉強になりました。「天使のささやき」を増やして、元気に仕事と子育てをしていきたいと思います。